

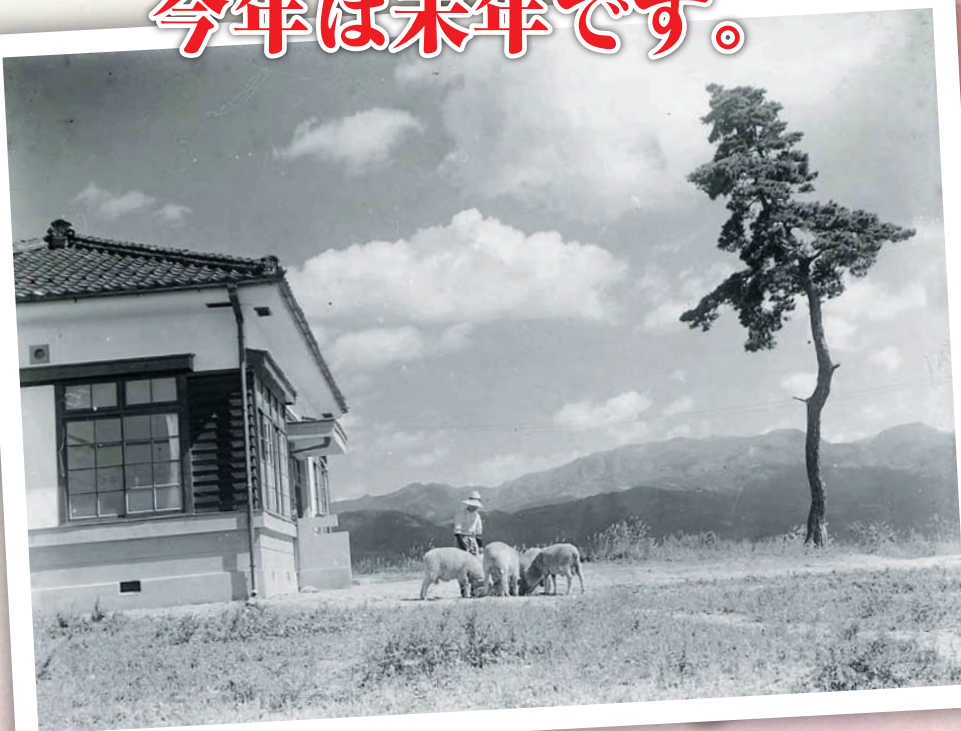
あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.196 2015.1.1

市民の皆さまに支えられて110年、 今年は末年です。

「長野県種畜場」 撮影：百瀬藤雄

松本で羊が家畜として飼われるようになったのは昭和のはじめ頃と言われます。かつて城山には種畜場があり、羊も飼育されていました。写真の場所は今はアルプス公園のドリームコースターの乗り口となっています。



○昭和六年（一九三一）辛未（かのとひつじ）

松本城天守閣観覧規程制定し、観覧料徴収開始。松本記念館（博物館）を市役所へ移管。犬養毅内閣成立。金輸出再禁止で株式市場大混乱。

○昭和十八年（一九四三）癸未（みずのとひつじ）

中山村字神田分離合併。松本市の人口七四・七九一人、面積一九・八七km²。陸軍省松本飛行場着工。

日本軍、ガダルカナル島撤退開始。神宮外苑競技場で出陣学徒壮行会。

○昭和三十年（一九四五）乙未（きのとひつじ）

一三ヶ村合併後、初の松本市長選挙執行。松本城解体復元工事竣工。市民会館全焼。神武景気はじまる。

○昭和四十二年（一九六七）丁未（ひのとひつじ）

県立青年の家、島内山田に完成。日本民俗資料館（博物館）新築工事竣工。大手近代化第Ⅰ期工事完成。ラジオ受信料廃止決定。

○昭和五十四年（一九七九）己未（つちのとひつじ）

松本駅前広場造成工事竣工。駅前通り商店街近代化事業完成。あがたの森文化会館開館。国立大学第一回共通一次試験実施。御岳山、有史以来の初噴火。

○平成三年（一九九一）辛未（かのとひつじ）

旧司祭館が開館。松本市野球場・総合体育館・中央図書館竣工。湾岸戦争が勃発。雲仙普賢岳で火砕流発生。

○平成十五年（二〇〇三）癸未（みずのとひつじ）

松本民芸館がリニューアルオープン。松本市・四賀村合併協議会、松本西部任意合併協議会の設置。小惑星探査機「はやぶさ」打ち上げ。

もくじ

博物館TOPICS ◇ 企画展「子ども達と福だるま」	2
◇ 写真展「歴史の里の歩み」	3
ガイドコーナー ◇ はんてんぼく	4

1月3日は博物館へ行こう！

【開館時間】午前9時～午後3時

松本市立博物館を無料開館します。当日は新春にちなみ特製福袋や七福神と干支ビンパッチ、友の会による縁起物を販売します。
〈関連行事〉1月14日（水）まゆ玉サービスを実施します。

企画展「子ども達と福だるま」

松本あめ市歴史展示

「敵に塩を送る」という戦国時代の故事で有名な松本のあめ市。越後の上杉謙信が、敵対する甲斐・信濃の武田領へ「義」によって塩を送ったという伝説は今も語り継がれています。祭りの日には町ごとに拝殿が建てられ、そこに市神様が祀られます。神輿のお練りが行われ、町の子ども達が縁起物のだるまを売る声が城下町に響き渡ります。商店の初売りとも重なり、昔から街中が大変なにぎわいを見せる歴史ある行事です。



昭和のだるま売り

松本のあめ市（初市）は、幕末から明治にかけて、商業の神様の行事として全国的に有名で、かつては越後や甲州はもとより江戸や近江など全国各地から、松本の市神様に幟や灯籠が奉納されていました。そのため商都として名を馳せていた松本では、商家の子ども達は商いのいろはを学ぶため、あめ市で飴や福だるまを売ることが昔からの習わしです。あめ市のだるま売りを通して、子ども達は商いとは何か、その難しさ、お金の扱い方、



平成のだるま売り（以下、同）



お客様への感謝の気持ちなどを体験し、一人前の商人へと成長していくのです。子ども達のだるま売りは、戦時中は一時途絶えましたが、昭和20年代に復活し、現在まで受け継がれています。



今年のあめ市歴史展示では「子ども達と福だるま」と題して、だるま売りを行う子ども達について、写真や作文などを展示すると共に、「福だるま」そのものにもスポットを当て、意外と知られていないだるまの秘密も紹介します。

（松本市時計博物館 学芸員／山下太一）

企画展「子ども達と福だるま」

【会 期】1月4日㊥～2月1日㊥

【会 場】松本市時計博物館

写真展「歴史の里の歩み」

松本市歴史の里では、平成 27 年 1 月 17 日（土）から 3 月 15 日（日）まで、写真展「歴史の里の歩み」を開催します。この展覧会は、平成 26 年度に当館が開催した事業を写真と資料で紹介するものです。ここで当館の 1 年を振り返ってみましょう。

1 裂き織りとみすず細工の製作実演

今年度は新規事業として、機織機^{はたおりき}を使った裂き織りと、みすず細工の製作実演を 4 月～11 月の日曜日に行いました。来館者から好評のため、今後も継続していきます。

裂き織り実演は、古い布を裂いたものを機織機で織りあげて新しい布にする、「裂き織り」という手法を用いたもので、みすず細工の実演は、松本の伝統的な竹細工であるみすず細工の製作の様子を公開したものです。

裂き織りとみすず細工の製作は、今まで体験講座として開催してきましたが、実演という形で毎週見学できるようにしたことは、平成 26 年度が初となる試みでした。実演を開始すると、竹細工作りをしている方や、かつて機織りをしていたという方も訪れ、情報交換をする場面が見られました。また、初めてこうした伝統技法を見た方も、実演者の話に熱心に耳を傾けていました。実演は、展示では難しい人と人との交流を通し、見て聞いて学ぶという機会を作り出した点で大変有意義なものとなりました。



みすず細工の実演者と来館者との交流

裁判所松本支部庁舎（明治 41 年建築）^{はやのしげお}について、信州大学工学部建築学科助教の梅干野成央さん、信濃伝統建築研究所所長の和田勝さんのほか、市内でご活躍されている一級建築士の方々に講演していただきました。

明治時代の日本は、近代化を推し進める中で、洋風の建築様式を導入しました。特に、行政機関や司法機関の庁舎は、国民に近代化を鼓舞する目的もあり、欧米のレンガ造りや石造りを模した建築になりました。しかし、明治 28 年頃、日本にふさわしい建築を評価する動きが起こり、基本は洋風、細部は和風といった和洋折衷様式が流行していきます。旧長野地方裁判所松本支部庁舎も、明治 41 年に建築されたこともあり、和洋折衷の建築様式が採用されました。

写真展では、講座の様子を写真で振り返りながら、現在も残る旧裁判所建物の魅力を紹介します。



建築講座の様子

おわりに

当館では、こうした製作実演や講座のほかにも、企画展「くらしの中の竹細工」や、松本まると博物館連携企画「刑務官が見た巣鴨プリズン」などの展覧会も開催しました。今回の展覧会では、こうした展覧会に展示した資料の一部も紹介しますので、展示を見逃した方や、もう一度見てみたいという方もぜひ足を運んでください。

（松本市歴史の里 学芸員／宮井博樹）

写真展「歴史の里の歩み」

[会 期] 1 月 17 日（土）～ 3 月 15 日（日）

[会 場] 松本市歴史の里

2 歴史の里建築講座「松本のたてもの 2014」

歴史の里建築講座「松本のたてもの 2014」も今年度から始まった事業のひとつです。1 年目にあたる本年は、当館に移築されている旧長野地方

松本市立博物館から

☎0263-32-0133

新春企画展「郷土の生んだ彫刻家 太田南海」

中町出身の彫刻家・太田南海を紹介する展覧会です。

会 期 1月3日(土)～2月15日(日)
会 場 松本市立博物館2階 展示室
料 金 通常観覧料(大人200円、小人100円)
問 合 せ 松本市立博物館まで



竹取翁

はかり資料館から

☎0263-36-1191

企画展「中町今昔物語」

中町は城下町松本の親町三町のひとつとして栄えました。本展では中町ゆかりの人物の作品を展示します。

会 期 1月10日(土)～2月8日(日)
会 場 はかり資料館
料 金 通常観覧料(大人200円)※1月11日(日)は無料開館
そ の 他 1月11日(日)は福だるまや福あめの露店販売をします。
問 合 せ はかり資料館まで

重文馬場家住宅から

☎0263-85-5070

内田のおんべ祭り見学会

重要文化財馬場家住宅周辺で行われている「内田のおんべ祭り」(市重要無形民俗文化財指定)を見学します。

日 時 1月14日(水) 正午～午後4時
料 金 200円
定 員 10人
そ の 他 行程はすべて徒歩での移動となります。
申込み・問合せ 馬場家住宅まで



松本民芸館から

☎0263-33-1569

企画展「心のぬくもり 染・織物展」

麻や木綿を手で紡ぎ、染めて織る。こんな手作りの染物や織物は美しく、心にぬくもりを与えてくれます。そんな作品を多数展示します。

会 期 2月10日(火)～6月7日(日)
会 場 松本民芸館
料 金 通常観覧料(大人300円)



筒描き(鶴亀)

体験講座「楽しい! やししょうま作り」

「やししょうま」はお釈迦様の命日のお供え物で、米粉を蒸し、絵柄をつけて作る美しい食べ物です。

日 時 2月1日(日) 午後1時～3時
会 場 下金井公民館
料 金 500円(材料費)
定 員 15人
講 師 横山律子氏(郷土料理研究家)
持 ち 物 タオル、エプロン、マスク
申込み・問合せ 松本民芸館まで

窪田空穂記念館から

☎0263-48-3440

空穂生家百人一首教室

日 時 1月10日(土) 午後1時～3時
会 場 窪田空穂生家
料 金 無 料
定 員 20人
講 師 駒井千枝子氏(図書館司書)
申込み・問合せ 当日までに電話で窪田空穂記念館まで

冬季文化講座「冬日ざし」

日 時 2月1日(日) 空穂と水穂の出会いと交流
講師 上條宏之氏(長野県短期大学学長)
2月8日(日) 道祖神と御柱
講師 浜野安則氏(郷土史家)
2月22日(日) 民家建築と本棟造
講師 多田井幸祝氏(県文化財審議委員)
3月1日(日) 空穂の随筆と民俗
講師 福澤昭司(窪田空穂記念館館長)
各日午後1時30分～3時
会 場 窪田空穂生家
料 金 各回200円
定 員 各回50人
申込み・問合せ 当日までに電話で窪田空穂記念館まで

考古博物館から

☎0263-86-4710

八十二銀行ウインドーギャラリー展
「原始の微笑み まつもとの土偶たち」

縄文時代の祈りの人形「土偶」。松本市内で出土した土偶の写真を、八十二銀行松本営業部のウインドーギャラリーに展示します。土偶たちの愛らしい笑顔をぜひご覧ください。

会 期 1月9日(金)～30日(金)
会 場 八十二銀行松本営業部ウインドーギャラリー
問 合 せ 考古博物館まで

速報展「発掘された松本 2014 ～」

2014年に松本市内で実施発掘調査等について、出土品や写真パネルを展示し、その成果を紹介します。

会 期 2月7日(土)～22日(日)
会 場 時計博物館3階 展示室
料 金 大人300円、小人150円

関連事業「発掘された松本2014～松本市遺跡発掘報告会」

日 時 2月7日(土) 午後1時～4時
会 場 時計博物館4階 本町ホール
料 金 無料
問 合 せ 文化財課埋蔵文化財担当まで ☎0263-85-7064

あとがき

昨年は平和首長会議が松本で開催され、開催記念として「戦争と平和」の企画展が3館にて行われました。今年の干支の羊は群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらすとされています。今年も平和でありますように。(E.M)

あなたと博物館 No.196

発行年月日/平成27年1月1日
編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL: <http://www.matsu-haku.com>
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp



印刷 川越印刷株式会社